

まずは、1年生の式の計算の復習です。

$$\begin{aligned} \text{例) ① } 2a \times 3 &= 2 \times a \times 3 \\ &= 2 \times 3 \times a \\ &= 6a \end{aligned} \qquad \begin{aligned} \text{② } 8ab \div 4 &= 8 \times ab \div 4 \\ &= 8 \div 4 \times ab \\ &= 2ab \end{aligned}$$

数と文字の積は、**交換法則**を利用して、計算することができます。
 割り算のとき、割り切れるときは割り切っちゃいましょう。
 割り切れないとき、分数で割るときは、逆数にしてかけ算に直して計算します。

$$\text{③ } \frac{15}{2}xy \div \frac{3}{4} = \frac{15xy}{2} \div \frac{3}{4} = \frac{15xy}{2} \times \frac{4}{3} = \frac{\overset{5}{\cancel{15}}xy \times \overset{2}{\cancel{4}}}{\underset{1}{\cancel{2}} \times \underset{1}{\cancel{3}}} = 10xy$$

次に、2年生の問題です。2年生では文字が増えます！

$$\begin{aligned} \text{例) ④ } 2a \times 3b &= 2 \times a \times 3 \times b \\ &= 2 \times 3 \times a \times b \\ &= 6ab \end{aligned}$$

あれ？ 上の①とそっくりですね。
 交換法則を利用して、数字どおし、文字どおし計算します。

$$\text{例) ⑤ } 8ab \div 4a = \frac{\overset{2}{\cancel{8}}ab}{\underset{1}{\cancel{4}}a} = 2b$$

$$\text{⑥ } \frac{15}{2}x^3y^3 \div \frac{3}{4}xy^2 = \frac{15x^3y^3}{2} \div \frac{3xy^2}{4} = \frac{\overset{5}{\cancel{15}}\cancel{x}\cancel{x}\cancel{x}\cancel{y}\cancel{y}\cancel{y}}{\underset{1}{\cancel{2}}} \times \frac{\overset{2}{\cancel{4}}}{\underset{1}{\cancel{3}}\cancel{x}\cancel{y}\cancel{y}} = 10x^2y$$

⑤は②と、⑥は③とそっくりですね。
 分数にして、分子と分母、約分していきます。文字どおしも約分できます。
 ⑤は②のように、割り切れるときは割り切っちゃってもかまいません。

理解できたら、ワーク(基礎からの問題集) **P18~P19** を解きましょう！

次は、ちょっと複雑になります。

$$\text{例) ⑦ } x \times 6xy \div 2x^2 = \frac{x}{1} \times \frac{6xy}{1} \div \frac{2xx}{1} = \frac{\cancel{x} \times \cancel{6} \times y}{\cancel{2} \times \cancel{x} \times \cancel{x}} = 3y$$

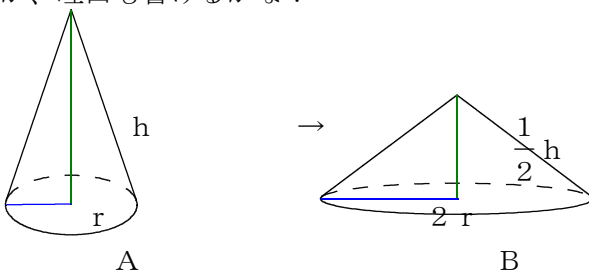
$$\text{⑧ } 9x^2y \div \frac{3}{4}xy \times y = \frac{9xx}{1} \div \frac{3xy}{4} \times y = \frac{\cancel{9} \times \cancel{x} \times \cancel{y} \times 4 \times y}{\cancel{3} \times \cancel{x} \times \cancel{y}} = 12xy$$

除法(割り算)は乗法(かけ算)に直して計算します。

⑧の、 $\frac{3}{4}xy$ の xy は、元は分子(上)にあるので、逆数にすると分母(下)になります。

理解できたら、ワーク(基礎からの問題集) P20 を解きましょう！

3 は難しいかな？
ヒントです。
何で○倍になるのか、理由も書けるかな？



円錐の体積の公式： $\frac{1}{3} \pi r^2 h$

今まで復習・学習したことを利用して、練習しましょう！

ワーク(基礎からの問題集) P21～P22 を解きましょう！

困ったら、このプリントの最初からもう一度よく読んで、1年の教科書・ノートを確認したりして、頑張ってみましょうね。

またまた、1年生の復習です。

「式の値」って覚えていますか？

式のなかの文字を数に置き換えることを、文字にその数を代入するといひ、代入して計算した結果を、そのときの式の値という。

例) ⑨ $x = -3$ のとき、 $5 - 4x$ の値を求めなさい。

$$5 - 4x \rightarrow 5 - 4 \times (-3) = 5 + 12 = 17$$

次に、2年生の問題です。2年生では文字が増えます！

例) ⑩ $x = 3$, $y = -2$ のとき、 $3x - 4y$ の式の値を求めなさい。

$$3x - 4y \rightarrow 3 \times 3 - 4 \times (-2) = 9 + 8 = 17$$

⑪ $x = 3$, $y = -2$ のとき、 $2(x + 2y) - 3(2x + y)$

$$= 2x + 4y - 6x - 3y$$

$$= -4x + y$$

$$\rightarrow -4 \times 3 + (-2)$$

$$= -12 - 2$$

$$= -14$$

⑪のように、代入する式が複雑なものは、式を簡単にしてから代入しましょう。

理解できたら、ワーク(基礎からの問題集) P23 を解きましょう！

☆あとは5月13日(水)に、今までの課題を提出に来たときにお渡しします。